

令和6年度 自己評価・学校関係者評価の結果について

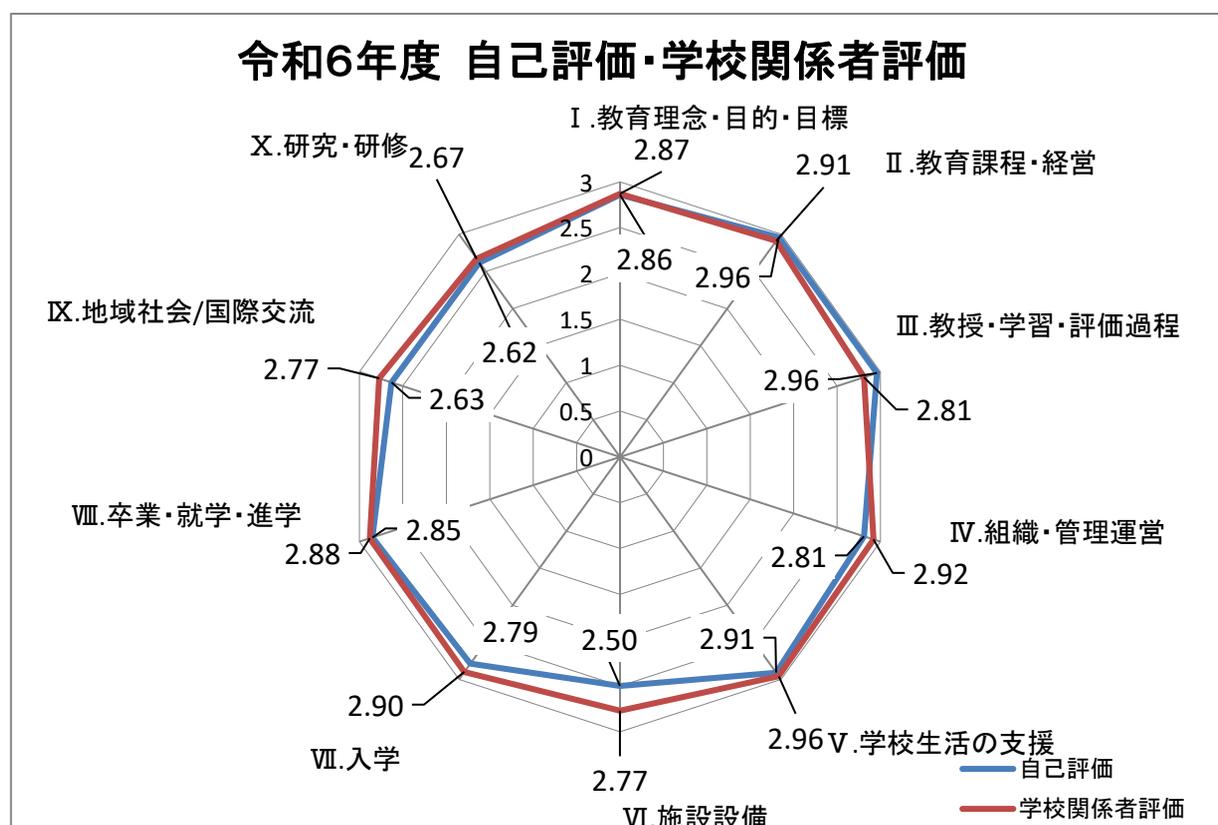
<目的>

学校経営・管理及び教育活動、研究活動等に対する自己点検・自己評価を継続的・循環的に行い、改善点を見出し、教育活動の質向上を目指すとともに、地域ニーズに応える魅力ある学校となるよう努める。

<方法>

- I. 教育理念・教育目的・教育目標
- II. 教育課程・経営
- III. 教授・学習・評価過程
- IV. 組織・管理運営
- V. 学生生活の支援
- VI. 施設設備
- VII. 入学
- VIII. 卒業・就業・進学
- IX. 地域社会/国際交流
- X. 研究・研修

10領域179項目について3段階で評価した各領域の平均点を示した



<課題・改善点>

- III 教授・学習・評価課程: 授業評価や評価のフィードバックができる仕組みづくりを検討
- VI 施設設備: 新校舎完成(R7.4月)まで創意工夫を図る。図書司書配置を検討
- VII 入学: 入学者の確保に努める(現20名→R7年度から30名)
- VIII 卒業・就職・進学: 国家試験の100%合格を実現できるよう支援プログラムを評価し、改善する。
- IX 地域社会・国際交流: 地域資源を活用した教育や地域と連携した教育活動の充実を図る。国際的視野を広げていける環境を計画的に整備する必要がある。
- X 教員の研究活動の支援と保障に努めていく必要がある。